

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者
住 所 東京都多摩市関戸6丁目12番地1
氏 名 多摩市 阿部 裕行

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章1（1）アの規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名			西落合小学童クラブ													
2	学童クラブの所在地			郵便番号	206-0033			住所	東京都多摩市落合5丁目6番地								
3	設置・運営形態			公 設 民 営													
4	設置主体	名称		多摩市													
		住所		郵便番号	206-8666			住所	東京都多摩市関戸6丁目12番地1								
		代表者		阿部 裕行													
5	運営主体	名称		社会福祉法人こばと会													
		住所		郵便番号	206-0024			住所	東京都多摩市諏訪4丁目7番地								
		代表者		元井 由隆													
6	学童クラブ事業開始年月			平成	28		年	4		月							
7	認証学童クラブ事業開始年月			令和	8		年	4		月							
8	支援単 位ごとの 状況 （※1）	西落合小学 童クラブ第 一	専用区画面積	育成室	71.24		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)				1.78		m ²			
			児童数	40 名													
			職員体制	放課後児童支援員（常勤）			1		名		放課後児童支援員（非常勤）			1		名	
				補助員（常勤）			1		名		補助員（非常勤）			2		名	
9	開所時間	平日	放課後から		19時		まで										
		土曜日・長期休業期間	8時	から		19時		まで									
10	国庫補助の有無			有													
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無			有													
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無			有													
13	長期休業期間中の昼食提供			有	夏季休業期間	28	日間提供		提供方法	その他（保護者が直接注文する宅配サービスの提供）							
						28	(夏季休業期間の全日数)										
				有	冬季休業期間	5	日間提供		提供方法	その他（保護者が直接注文する宅配サービスの提供）							
						5	(冬季休業期間の全日数)										
				有	春季休業期間	4	日間提供		提供方法	その他（保護者が直接注文する宅配サービスの提供）							
						7	(春季休業期間の全日数)										
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有（別紙様式2のとおり）														
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有（別紙様式2のとおり）														
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無			有		令和	11	年度	受審予定								
16	直接契約の有無（民設民営の場合のみ）																
17	利用料	月額		7,000		円											
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)															

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、2支援単位目以降を第1号様式乙に記載ください。

第 1 号様式乙

支援単位名	支 援 単 位 ご と の 状 況										
西落合小学児童クラブ第二	専用区画面積	育成室・集会室・和室	69.35	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)				1.73	m ²	
	児童数	40	名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			2	名	放課後児童支援員（非常勤）			0	名
		補助員（常勤）			0	名	補助員（非常勤）			3	名
西落合小学児童クラブ第三	専用区画面積	育成室・集会室・和室	69.35	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)				1.73	m ²	
	児童数	40	名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			2	名	放課後児童支援員（非常勤）			0	名
		補助員（常勤）			0	名	補助員（非常勤）			3	名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設			具体的な内容		
1. 子ども会議の定期開催 毎月15日に子ども会議を開き、子どもたちがやりたい行事や活動などの意見を吸い上げそれについて企画していく。(例)夏祭り、スポーツ大会、制作活動など。また、日常的にも子どもたちからやりたいことの発信があったときは一緒に計画を立てて実現している。(例)クラブ活動発表会など。そのほか、その時節の状況で課題となっていることを話し合い解決に向けて取り組んでいくこともある。(例)片付けについて約束の確認と「使っています」ボードの新設、室内を走る児童が多いことについて、掲示物やスライド発表での注意喚起、など。ロジャー・A・ハート博士による「参画のはしご」をモットーに、子ども主導で学童クラブ活動の運営をしていくという意識を大人子ども双方に伝えている。 2. アンケートボックスの設置 子どもたちに意見を求める際に、発言力のある児童の声だけににならないように投票式で意見を求めることも並行して適宜行っている。(例)おやつリクエスト、行事内容の希望、実行委員の募集など 3. 子どもアンケートおよび子ども面談 年間2回、簡単なアンケートとともに子ども面談を行っている。一対一でじっくりと向き合う時間を取り、学童クラブ育成や家庭、学校など生活全般についての想いを聞き取ることで、子どもの理解と支援につなげている。					
2 多様な遊び及び体験活動					
項目		実施回数		具体的な内容	
「身体を動かす遊び」		毎日		学校敷地内に施設があるため、毎日校庭を使うことができ、十分な運動時間をとることができる。雨天時も室内での工夫や時々体育館を借りて運動遊びができるようにしている。 1. 校庭使用時：鉄棒、雲梯、のぼり棒、ブランコ、ジャングルジム、滑り台、サッカー、リレー、各種鬼ごっこ、各種ボール遊び 2. 学童クラブ遊具：バスケット、テニス、バドミントン、野球、縄跳び、フラフープ、ドッジボール、インディアカ 3. 放課後教室参加自：風揚げ、その他 4. 室内：トランポリン、卓球、ボーリング、コマ回しなど。 5. 体育館使用時：巨大オセロゲーム、しっぽとりなど。	
「製作活動等」		毎日		1. 工作コーナーが設置しており、日常的に子どもたちが廃材や色紙などを用いて自由に製作することができる。 2. 全員を対象にした季節に合わせた製作活動もしている。(例)春：新入生へのプレゼント作り、夏：風鈴づくり、組みひもミサンガ、秋：ハロウィンランタンや衣装づくり、冬：編み物、イベントに向けたプレゼントや装飾活動など。 3. 日々、壁面装飾や誕生カードの飾り作りに有志の児童を誘って製作している。 4. 年間4回造形指導の講師を招いて製作活動を行っている。(例)5月・7月：身近な材料を用いたおもちゃ作り、12月：クリスマス飾り、干支の墨絵アート	
「地域の文化等に触れる体験」		12	回	1. 毎月絵本の読み聞かせに来て下さるボランティアに加え、地域の平和紙芝居読み聞かせサークルと、英語絵本の読み聞かせサークルの方にボランティアで年3回の公演と子どもたちへのワークショップをしていただいている。 2. 近隣大学と連携し学校見学と学食体験を行っている。 3. 当地域では、小学校、中学校、教員と保護者、児童館や地域の事業所等の連携が厚く、年間を通して多くの行事やイベントが催されている。(例)放課後教室や未来塾、読み聞かせサークル、夏祭り、どんどこやき、中学校開催遊びイベントなど。それらに学童クラブも参加している。 4. 日頃の育成の中で、近隣公園や児童館を活用している。 5. 学童クラブ内の有志グループ活動の発表の場として、近隣保育園や高齢者向け施設などを訪問。 6. 市内中学生の職場体験の受け入れをしている。	
「自主学習」		毎日		放課後の育成日は、登所後に10分勉強の時間を設けており、宿題や本読みなどしている。一日育成の日は朝の会の後に一時間の学習時間と、昼食後の食休み一時間を本読み勉強としている。長期休みには、いくつかのコーナーから選択できるワークの時間としている。ワークの例：勉強コーナーではマス計算、迷路、パズルなど。言語のコーナーでは読み聞かせ、紙芝居など。他、音楽のコーナー、検定チャレンジのコーナー、アート活動のコーナー、など用意している。	
「児童の意見を反映させた行事」		16	回	定期的な子ども会議を除き、小さなものから大きなものまですべてに子どもたちの意見を取り入れている。支援員が大枠を決めたものであっても、細部には子どもたちの提案が採用されており、ものによっては企画から準備、運営まですべてを子どもが行い、支援員は子どもの指示を受けて行ったものもある。	
3 要件					
児童の意見を踏まえた内容となっているか		はい		「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	
				はい	